

JCI-TC-203A「アンボンドプレストレストコンクリート構造部材の曲げ挙動に関する研究委員会」  
第5回全体委員会 議事録

日時：2021年6月8日（火） 13:00～15:15

場所：Zoom 会議

出席（敬称略）：河野（委員長），津田・松崎・杉本（幹事），谷・橋本・小原・大迫・河村・竹内・  
秋山・近藤・晋・武田・高津（委員），綿貫（JCI）

資料：

- ・前回議事録案（第4回，3/23）
- ・報告書目次案
- ・WG3 報告資料（第4回議事録案，第5回議事録案）

議事：

1. 前回議事録確認

前回 3/23 議事録（案）について，承認された。

2. 報告書目次案

幹事団で検討した報告書目次案が紹介され，以下のような意見が出た。

- ・土木・建築の両方において，アンボンドPCはほとんど使用されておらず，2章の適用部材，3章の施工法，7章の適用事例などは書きにくいのではないか。
- ・7章の適用事例は，建築学会の委員会で調査しているものと重複するのでは。
- ・現状，太径のアンボンドPC鋼材は存在せず，高層の鉄筋コンクリート造と同等の架構耐力を確保することは困難である。

以上のような意見を受け，

- ・書ける内容だけを書くしかないのでは（他機関委員会内容との重複は避けられない。これに $+\alpha$ の内容を追加する。）。各WGで目次案に対し書ける内容を検討し，次回委員会で報告することになった。

3. 各WG報告

(1) WG4：スラブ

- ・前回委員会からWGを開催していない。文献調査は進めている。

(2) WG3：壁

- ・WGを二回開催した（4/23，5/28）。議事録にて報告（以下）。
  - ・東工大で実施したアンボンドPCaPC方立壁と耐震壁の実験結果と解析結果，PC性能評価指針との適合性の報告。実験結果と解析結果，PC性能評価指針はほぼ対応したが，実験でせん断破壊したものについては破壊モードが対応しない。  
→ 精度の良いせん断強度算定式が存在しないため。

- ・プレストレストコンクリート製格納容器における PC 鋼材のボンド・アンボンドの相違について調査した結果，国によって異なることが判明。日本，チェコ，米国はアンボンド。これらは再緊張が可能。さらに，定着システムディテールを紹介。
- ・NZ のアンボンド PC ハイブリッド壁の設計例調査結果を報告。
- ・報告書内容の検討。
- ・アンボンド PC 壁を活用した建物解析（マルチスプリングモデル使用）結果を報告。

### (3) WG2：柱

- ・前回委員会から WG を開催していない。次回委員会までにWGを開催し，目次内容を検討したい。

### (4) WG1：梁

- ・前回委員会から WG を開催していない。次回委員会までにWGを開催し，目次内容を検討したい。
- ・建築学会のアンボンド PS 委員会によるパネルディスカッション資料は，後日，紹介することになった。

## 4. 次回日程ほか

8 月中旬から下旬で，後日，日程調整する。

以上